

2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 株式会社免疫生物研究所

上場取引所 東

コード番号 4570 URL <https://www.ibl-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清藤 勉

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務執行責任者兼事業グループ管理本部長 (氏名) 中川 正人 TEL 0274-22-2889

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	156	25.0	14		54		58	
2022年3月期第1四半期	125	7.3	73		101		110	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 58百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 110百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	6.32	
2022年3月期第1四半期	11.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,649	1,309	79.4
2022年3月期	1,705	1,368	80.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,309百万円 2022年3月期 1,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	775	19.7	3		95		120		12.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	9,314,590 株	2022年3月期	9,314,590 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,130 株	2022年3月期	1,130 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	9,313,460 株	2022年3月期1Q	9,313,460 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における当社グループの売上高は、新型コロナウイルス感染症の再拡大が心配される中、抗体関連事業における血中リポタンパク質プロファイリングサービス「LipoSEARCH」の検査サービスが減少した一方、当社グループの主力事業である診断試薬サービスにおいて、海外への販売が大幅に増加したこと等により、当社グループの売上高は、前年を大幅に上回ることができました。

経費面においては、コロナ禍における事業活動の最適化をはかり、また、研究開発における選択と集中等により販売費及び一般管理費が減少いたしました。その結果、売上高は156,456千円（前年同期比25.0%増）となり、営業損失は14,858千円（前年同期は73,893千円の営業損失）となりました。また、営業外費用に、関係会社の持分法による投資損失を49,199千円計上したこと等により経常損失は54,731千円（前年同期は101,640千円の経常損失）となりました。以上より、親会社株主に帰属する四半期純損失は58,937千円（前年同期は110,740千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

セグメント	売上高			営業損益		
	金額 (千円)	前年同期比		金額 (千円)	前年同期比	
		増減額 (千円)	増減率 (%)		増減額 (千円)	増減率 (%)
抗体関連事業	155,627	+32,351	26.2	8,932	+50,157	—
診断試薬サービス	132,920	+38,594	40.9	29,137	+51,495	—
検査サービス	12,274	△5,461	△30.8	△4,832	△317	—
TGカイクサービス	10,432	△781	△7.0	△15,373	△1,020	—
遺伝子組換えカイク開発事業※	—	—	—	△18,982	+10,128	—
化粧品関連事業	829	△1,046	△55.8	△4,807	△1,010	—

※遺伝子組換えカイク開発事業は、研究開発のコスト管理を行っているため、売上高はありません。

(抗体関連事業)

当事業の売上高は、診断試薬サービスにおいて、動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キット（BSEキット）の販売が計上されたことや、海外販売活動においてeマーケティング(SNS等)を活用した情報戦略の成果が見え始め、海外における主力のEIA測定キット及び抗体の販売が前年に比べ大幅に増加いたしました。

検査サービスにつきましては、コロナ禍において、当サービスの血中リポタンパク質プロファイリングサービス「LipoSEARCH」に関連する検査が停滞し、前年を大幅に下回る結果となりました。

TGカイクサービスについては、前年並みで推移しております。

当事業の利益面は、売上高が増加したことやコロナ禍における事業活動の最適化をはかり、諸経費を抑制したこともあり前年に比べ大幅に改善することができました。

(遺伝子組換えカイク開発事業)

当事業は、コストを抑制しつつ、有用なタンパク質の開発や当該タンパク質の菌中産生量の改良における基礎研究に徹しております。

(化粧品関連事業)

当事業の売上高は、国内通信販売の販売戦略や販売目標額を明確にするために、国内通信販売については、直接個人ユーザーへの販売から代理店販売に切り替えました。それにともない代理店への卸単価減により、売上高は減少しておりますが、国内通信販売に関わる経費につきましては、大幅に抑制することができました。また、中国への越境ECの構築を行い、販売が6月下旬から開始されました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比3.3%減の1,649,544千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと等で収入より支出の方が多かったことにより現金及び預金が

45,097千円減少したこと、持分法による投資損失及び投資有価証券評価損の計上により投資有価証券が29,034千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は前連結会計年度末比0.9%増加し、340,133千円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が5,760千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末比4.3%減少し、1,309,411千円となりました。この要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が58,937千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	508,350	463,253
受取手形、売掛金及び契約資産	173,869	177,273
商品及び製品	47,380	46,800
仕掛品	133,314	136,883
原材料及び貯蔵品	145,892	155,607
その他	120,978	124,203
流動資産合計	1,129,786	1,104,021
固定資産		
有形固定資産		
土地	120,081	119,277
有形固定資産合計	120,081	119,277
投資その他の資産		
投資有価証券	399,818	370,783
その他	55,652	55,461
投資その他の資産合計	455,471	426,245
固定資産合計	575,552	545,522
資産合計	1,705,338	1,649,544
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,930	9,690
短期借入金	125,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	4,008	4,008
賞与引当金	17,184	13,003
その他	77,960	80,515
流動負債合計	228,083	232,218
固定負債		
長期借入金	104,990	103,988
退職給付に係る負債	3,917	3,927
固定負債合計	108,907	107,915
負債合計	336,990	340,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,029,041	3,029,041
資本剰余金	2,061,421	2,061,421
利益剰余金	△3,720,124	△3,779,062
自己株式	△1,990	△1,990
株主資本合計	1,368,348	1,309,411
純資産合計	1,368,348	1,309,411
負債純資産合計	1,705,338	1,649,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	125,150	156,456
売上原価	59,479	59,991
売上総利益	65,671	96,465
販売費及び一般管理費	139,565	111,323
営業損失(△)	△73,893	△14,858
営業外収益		
受取利息	5	274
為替差益	—	5,661
保険解約返戻金	3,107	4,061
その他	1,818	100
営業外収益合計	4,932	10,098
営業外費用		
支払利息	40	265
為替差損	319	—
持分法による投資損失	32,319	49,199
その他	—	506
営業外費用合計	32,679	49,972
経常損失(△)	△101,640	△54,731
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,108
減損損失	7,041	804
特別損失合計	7,041	1,913
税金等調整前四半期純損失(△)	△108,681	△56,644
法人税、住民税及び事業税	2,058	2,292
法人税等合計	2,058	2,292
四半期純損失(△)	△110,740	△58,937
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△110,740	△58,937

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△110,740	△58,937
四半期包括利益	△110,740	△58,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△110,740	△58,937
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。